

名古屋市病院事業会計 令和4年度決算の概要

○病院事業全体の収支

病院事業は、利用料金制による指定管理者制度を導入している緑市民病院を設置し、地域密着型の総合的な病院の役割を継続しながら、医療サービスの向上を図るとともに、地域医療のさらなる充実等の観点から、令和5年4月の名古屋市立大学医学部附属病院化に向けた準備を進めました。

令和4年度における病院事業会計の収益的収支について、総収益は、令和3年度に計上した東部医療センター及び西部医療センターの名古屋市立大学医学部附属病院化による負債の移管に伴う譲渡益などの特別利益が減少したことにより、前年度に比べ、424億2千8百万円余減の4億9千1百万円余となりました。これに対し総費用は、令和3年度に計上した東部医療センター及び西部医療センターの名古屋市立大学医学部附属病院化による資産の出資に伴う譲渡損などの特別損失が減少したことにより、前年度に比べ、510億6千2百万円余減の21億7千1百万円余となりました。その結果、16億8千万円余の当年度純損失となり、当年度未処理欠損金は176億8千9百万円余となりました。

